

第4回総会開催

会場：上伊那教育会館 講堂

2021.1.29

新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、第3回に引き続いて中学校区から1名ずつ代議員を参集して委任状による議決権の行使をお願いし、極力出席者を絞っての総会開催となりました。

教育会長あいさつ

上伊那教育会 会長 小澤 徳夫

1月23日には、第26回授業研修会が行われました。当初は人数制限での開催を予定していましたが、新型コロナの感染者が爆発的に増えたことからオンラインでの開催を決断しました。伊那東小学校の池上一輝先生が授業を提供してくださったので、それを無駄にしないように、何らかの形で会員に返していきたいという授業研修委員の皆さんの熱意により実現しました。教育会館と福井大学、そして郡内から参加してくださった皆さんをオンラインでつなぎ、北原和俊先生のご指導、松木健一先生のご講演をとおして、新たな私を発見し出会うことができた、実のある研修会となりました。

今週末1月30日には、郷土研究部研究発表会が予定されていましたが、専門委員の活動が制限されたことから、こちらは中止とさせていただきます。そんな中、積極的に調査・研究を進めてくださった自然4委員会、人文2委員会で、研究結果をまとめ研究紀要を作成し、先週各校へ配布させていただきました。ぜひご覧ください。コロナ禍のなか、研究に打ち込んでいただいた専門委員の皆さんに感謝申し上げます。

麒麟ビールがビール系飲料のシェアナンバーワンを11年ぶりに奪還したというニュースが新聞に掲載されました。「お客様に自社ビールを飲んで喜んでいただきたい」という明確な理念があり、かつ、ぶれずに営業を続けてきた成果であったということです。上伊那教育会では、現在組織の改編に取り組んでいます。「先生方が力量を高めそれを子どもに返し子どもも力をつける」この理念を持ちぶれずに進めてまいりました。この後、議事として協議いただきます。

本日の協議の後、2月5日の理事会を経て、3月4日の最終総会には、令和3年度の方針と事業計画・予算案をお示しし、ご承認いただくという運びとなっています。そして、みんなで決めた組織・計画のもと、公益社団法人化10年目を迎えたいと思います。



<第4回総会 次第>

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 報告
 - (1) 上伊那教育会理事会報告
 - (2) 信濃教育会常任委員会報告
 - (3) 信濃教育会臨時総会報告
 - (4) 公益目的事業を行う外部団体等への助成金について
 - (5) 「未来継承委員会」答申について
 - (6) 『上伊那教育会グループウェア運用規程』の改訂について
- 4 議事
 - (1) 第1号議案「令和2年度2月分会費の集金中止」承認に関する件
 - (2) 第2号議案「令和2年度いなっせビルトイレ改修工事に伴う特定費用準備金からの支出」の承認に関する件
 - (3) 第3号議案「『未来継承委員会からの答申』をうけての令和3年度上伊那教育会組織並びに事業内容の変更」の承認に関する件
- 5 協議
 - (1) 令和3年度に向けた公益社団法人上伊那教育会諸事業の改善・充実に関する意見・要望等について
- 6 諸連絡
 - (1) 令和3年度教科等教育研究会の発足に向けて
 - (2) 令和3年度各種委員会委員候補自己推薦について
 - (3) 研究紀要42集配布について
 - (4) 令和3年度教育関係年間計画の作成について
 - (5) 旅費の精算について
- 7 閉会の言葉

第1号議案「令和2年度2月分会費の集金」は中止いたします



教育会事務局より、コロナウィルス感染症拡大防止のため令和2年度の教育会諸事業の中止や縮小化が相次いだ結果、会費に余剰金が生じたため、令和2年度2月分の会費について集金を中止する提案がありました。この中で、伊藤尚哲代議員（宮田小）から、「2月分の集金中止について、教育会で必要なところにお金が使われて、その上で余剰があるのであれば、集金の中止は会員にとってもありがたいことなのでお願いしたい。」と意見が出されました。本議案は総会で承認されました。詳細は各校に配布された総会資料をご覧ください。

意見を述べる伊藤代議員

第3号議案「教育会組織及び事業内容」が変わります

第3号議案「『未来継承委員会からの答申』」をうけての令和3年度上伊那教育会組織並びに事業内容の変更が承認されました。これにより、令和3年度から教育会の組織構成の変更及び委員会の事業内容の一部が変更されます。大きな変更点をお知らせします。

「小学校葉委員会」「中学校葉委員会」について、タブレット等の環境が各校に整いつつある中で、それらを適切に活用した学習活動の充実を図る必要から事業内容を縮小し、委員会を3年に1度の開催とします。

研修部の事業と並び、私たち教師の力を高める教育会事業の根幹を成す「研究調査部」の活動を活性化させるため、「教育課程研究調査事業」の15委員会については、教科研究を主とする委員会となります（総会資料p35参照）。これらの委員会は、カリキュラム研究委員会（旧教育課程委員会）が提示する共通テーマのもと、主として学習指導要領に沿って基礎的・基本的な教科研究を行います。教育課程研究協議会の授業については、教科等教育研究会とも連携し、事前授業の参観を行い、各委員の研究・調査の参考とします。また、教育課程研究協議会午後の運営については、教科等教育研究会と連携していくことも考えられますが、引き続き委員会が担うこととし、そこでは各委員会の1年間の研究の成果を発表する場を設けるようにします。また、その研究の成果は「教科等研究のまとめ」に掲載し、各学校（教科会や研究部会等）や教科等教育研究会での研修資料として積極的に活用します。教科等教育研究会の各会は、独自のテーマで教科研究を進めていますが、互いに連携を図っていくこととなります。

教育課題研究調査事業（5委員会）の事業内容について、「学校図書館教育委員会」は読書感想文選定事業を、また、「情報教育委員会」は映画鑑賞事業をそれぞれ切り離し、新たな事業内容について研究し、11月の常任委員会に提案します。

「展覧会・発表事業」「鑑賞会事業」の事業内容について、郡習字展委員会、読書感想文委員会、都市連合音楽会委員会、科学作品展委員会、ギャラリー活用委員会が移設、新設されます。これらの委員会は、原則としてこれまで各教科部の委員会内でやってきた事業内容を引き継ぎます。その際、必要に応じて教科等教育研究会や各地区教職員委員会とも連携しながら進めていきます。

4つの委員会が増加しますが、昨年度、委員数を縮小したことを考慮し、原則委員総数は増やさない方向で考えています。

総会の中で、平澤聡幸代議員（南箕輪中）からは、「教育会の組織及び事業内容の変更ということで驚いたが、副



意見を述べる平澤代議員

会長先生からの説明を伺って、教育会の組織がすっきりするように感じた。事業を見直し、調査研究・推進を目的とする委員会とするという方向は先生方の力を高めるのに大きくプラスに働くと感じる。今日いただいた資料をよく読んで、自校の会員の先生方へお知らせしたい。」と意見が述べられました。

詳細は各校に配布された総会資料をご覧ください。

上伊那教育会 組織構成の変更及び委員数の変更

			変更後
研修部	講習講演会事業	哲学研修	8
		文学研修	8
		授業研修	8
	会誌発行事業	上伊那教育編集	9
研究調査部	教育課程研究調査事業 (15委員会)	カリキュラム研究	5
		国語	5
		社会	5
		算数・数学	5
		理科	5
		音楽	5
		図工・美術	5
		体育・保健体育	5
		家庭・技術家庭	6
		英語・外国語活動	5
		道徳	5
		特別活動	5
		特別支援教育	5
		総合・生活	6
		健康教育	6
	教育課題研究調査事業 (5委員会)	学校図書館教育	5
		キャリア教育	4
		幼保小連携	3
		人権教育	4
		情報教育	4
	児童生徒育成部	編集事業	上伊那文集
小学校葉			3
中学校葉			3
上伊那地図			9
展覧会・発表事業		郡習字展	4
		読書感想文	4
		都市連合音楽会	4
鑑賞事業		科学作品展	5
		ギャラリー活用	6
	—(映画鑑賞)—		
郷土研究部	研究委員会	自然	8
		歴史	5
		考古	5
		美術	4
		図書	4
		伊澤修二	5
	専門委員会		
教育会運営・広報部	会報	4	
	ホームページ	4	
	グループウェア管理	3	
	あり方	5	
特設委員会	未来仰望	6	